

AKO CITY RECRUIT JOURNAL





事務職

住民が描く理想のライフスタイルが実現できる街に



産業観光課 観光係

田中 宏樹

Hiroki Tanaka

平成 22 年度入庁

どのような仕事をしていますか？

観光による街の活性化や賑わいづくりを目的とした事業に携わっています。各種広告媒体を利用した情報発信、PR キャンペーンなどの観光宣伝業務や義土祭などのイベントの実施のほか、市内の観光施設の整備など観光振興を目的とした様々な業務を行っています。



赤穂を若者が住みたいと思える街にしたい

働く前とのギャップはありましたか？

私は、職員になるまで市役所で働く人はすごく堅いイメージがありました。ところが入ってみるとみんな優しく、いろいろな事に誘ってもらえ、休日は一緒に遊びに行くなど、職場の人たちと仲良くしています。市役所がこんなに仲良く、働きやすい環境だとは思いませんでした。



医療介護課 介護保険係

水野 京子

Kyoko Mizuno

平成 21 年度入庁

事務職

土木職

街を良くしたいという想いを形にする仕事です



建設課 土木係

尾崎 雄一郎

Yuichiro Osaki

平成 26 年度入庁

どんな赤穂市にしていきたいですか？

赤穂市は、千種川水系の自然に恵まれたとても住みよい街です。しかし、老朽化したインフラ施設や自然災害への対策等の課題もあります。社会インフラや公共空間を整備する事業に従事しているので、それらの事業をとおして、市民のみなさんがより安全、安心に生活できる街にしていきたいです。





幼稚園教諭

子どもたちの笑顔が何よりのやりがいです

塩屋幼稚園

清永 歌織

Kaori Kiyonaga

平成 28 年度入庁



赤穂市で働いてよかったと思うことは？

働く前は、発達段階における様々な子どもたちがいるクラスの担任を一人で持つ事に少し不安もありましたが、赤穂市は特別支援教育において、専門機関との連携がとても密に行われており、専門の先生や先輩の先生にアドバイスをもらいながら安心して保育ができるところがよかったですと思います。



安心して育児ができる街にしたい

保健師

どんな保健師になりたいですか？

一人ひとりのお母さんや子どもに寄り添った支援をとおして、子どもの健康づくりだけでなく、お母さんの健康づくりもお手伝いしながら、お母さんが困ったときや不安に思ったときに、「あの保健師さんに相談してみようかな」と思ってもらえるような保健師になりたいです。

保健センター

船津 幸恵

Yukie Funatsu

平成 28 年度入庁



消防職

安心感を与えられる消防士になりたい

仕事のやりがいはなんですか？

消防士は 24 時間という勤務体制の中で、火災・救助・救急といったあらゆる現場に対応しなければなりません。そのための訓練はイメージしていた以上に厳しいところもありますが、仲間と励ましあってチームワークを深め、その成果を現場の人命救助に生かすということに一番のやりがいを感じています。

消防本部 予防課

山田 真志

Masashi Yamada

平成 24 年度入庁





LIFESTYLE

～自分らしい働き方を探して～

市民課 戸籍係
堂本 野花
Yaka Domoto
平成 19 年度入庁



現在、私は市民課で住民票や戸籍に関する業務を担当しています。市外在住で、6歳と4歳の2人の子どもがいるため、育児休業からの復帰後は部分休業制度を利用し、勤務しています。

復帰する前は、仕事と育児の両立に不安を感じていましたが、職場の理解や家族の協力のもと充実した毎日の送る事ができています。

勤務時間に制約があるため、日々の仕事は、段取りや優先順位を考え、短時間で集中して成果をあげられるよう意識しています。また、同僚のフォローや先輩の助言に救われることも多く、それらに対する感謝の気持ちが働く私の原動力となっています。

子どもと過ごす至福の時間と職場で味わう達成感。そのどちらも私にとってかけがえのないものです。自分らしい働き方、生き方を見つけるためにも、できないことを悔いるのではなく、できることを着実に増やしていく小さな一歩を大切に頑張っていきたいと思えます。

1日のスケジュール



赤穂市人事課より

- ◇高い倫理観と強い使命感・責任感を備えた職員
- ◇市民の目線で考え、積極的にチャレンジする職員
- ◇新しい変化に対応し、変革・創造できる職員
- ◇コスト意識と経営感覚を身に付けた職員

これが、赤穂市が目指す職員像です。

皆さんが今、目にしているこのパンフレットや、採用案内の動画などは、入庁1年目～4年目までの若手職員有志が作成しました。自ら考え行動する、そんな先輩たちと一緒に「赤穂の未来」を創っていきませんか？皆さんと共に仕事ができることを、心より楽しみにしています。

